

# 長期波状スト態勢 を堅持しつつ、

# 組織強化がちとるう!

## 29回執行委員会開催7/5

七月五日、動労千葉は第二九回執行委員会を開催し、新ためて七月を組織強化月間と位置付け、いつ、いかなる時でもストライキに入る体制を堅持しつつ、各支部、営業協議会、清算事業団等の組織強化をかちとるべく意志統一した。  
同時に、物品販売運動を軸に争議団の自立した新たなたたかいをめざすことを確認。

七月闘争の勝利をかちとるべく、全組合員の打って一丸となったたたかいを貫徹しよう!

長期波状ストを堅持して  
たたかひぬこう!

日帝竹下政権は、中曽根政権を継承した戦争政治を基調としながら、昨年十月の株式大暴落という世界的危機に脅えながら、より一層反動政治を強めており、一九九〇年を一つの節にあらゆる情勢が煮つまりつつある。(国鉄問題、三里塚、労戦「統一」、関西新空港、「消費税」導入など) とりわけ、右翼労戦「統一」は、総評が一年前倒しを決定し、「連合」へのなだれこみを急いでいる。総評は、屈服の「象徴」である連合の提起する「進路と役割」、「統一」に対して批判をもつ者には毅然たる態度をとることを連合と約束するなど、戦後労働運動の解体的危機にある。  
このような情勢のなかで、「国鉄」はあらゆる意味において重要なカギを握っているのだ。

夏季一時金カット、乗務停止攻撃、  
不当配転を許すな!

現在、一時金カット、乗務停止攻撃などをはじめとした攻撃が加えられてきている。こうした状況を見極め、いつでもストライキに打ってでる体制を堅持しつつ、各支部の組織強化をかちとるべく七月闘争を貫徹しよう!

動労総連合  
五回執行委員会  
開催 7/4

七月四日、動労車会館において、動労総連合第五回中央執行委員会が開催された。

執行委員会では、「四・一一周年」を期して開始された国鉄労働運動の根絶し攻撃に対して、各地でたたかわれた取り組み、  
動労西日本―「子会社化」―出向阻止の二波のストライキ、組合員一名獲得

動労連帯高崎―強制配転に対する地労委闘争  
動労水戸―強制配転に対する地労委・裁判闘争  
動労千葉―不当処分、強制配転、脱退強要に對する長期波状スト、の勝利を確認し

### 《当面する取り組みとして》

- I 組織強化拡大の取り組み
    - ① いつでもどこからでもストライキが打てる組織体制確立のたたかい
    - ② 「西日本スト」を教訓とした、出向粉砕、組織拡大のたたかい
    - ③ 各地方の実情にマッチした取り組みと全体の調和。
  - II 交渉の強化  
大衆闘争の追求
  - III 八月の広島、長崎を中心とする反戦闘争への積極的参加。
- ② 国鉄労働運動―労戦統一問題等の動向を見極め「国鉄労働者集会」の開催を追求する。  
③ 各地方の課題をほり下げ、組織内の大衆的交流を図る。  
を確認した。

7/15 青年部全支活動者会議



1988.7.7  
No. 2851

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八 (動力車会館)  
(鉄電)二九三五・六・(公衆)〇四七二・二二七二〇七